

# 平成26年度 県立具志川高等学校自己評価(職員用)

A : そう思う    B : ややそう思う    C : あまりそう思わない    D : そう思わない

本年度の努力事項	評価事項	自己評価	本年度の課題	今年度の取り組み	次年度への改善点
教育目標・方針	①教育目標・方針は適切であり、よく理解している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員の連携と協力を図り、さらなる学校課題の解決に努める</li> <li>学習環境のさらなる改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部・各学年の取り組み目標等に対し学期毎に反省し、確認を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員の理解と協力が得られるよう、事前の話し合いをしっかりと行う。</li> </ul>
経営方針	②基本的な生活習慣の確立、確かな学力の育成と信頼される学校づくりに取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>凡事徹底を図り、国公立大合格者30名以上、進路決定率90%、部活加入率8割以上、停学指導9名以内、重大事故0件、読書一人平均10冊以上の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学合格者30名</li> <li>進路決定率80%</li> <li>部活動加入率8割</li> <li>停学指導0名</li> <li>重大事故0件</li> <li>読書一人平均6冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習計画表の活用を引き続き行い、学習習慣の形成を担任と連携して行う。</li> <li>基本的な生活習慣を学習活動や課外活動に生かす取り組みが必要</li> </ul>
	③教職員の学校経営参加が促され、全職員の協力・連携し、学校課題の解決に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間の連携を深め、より具体的な指導を行う</li> <li>各年度間での引継ぎを密にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員評価システムを活用し所属分掌の目標と個人の目標とを関連付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各担当の仕事の引継ぎがスムーズに行えるよう文書で行う。</li> </ul>
(1)学習意欲の高揚と学力の向上	④年間学習指導計画とシラバスに基づいた授業を行い、充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>年計とシラバスは年度初めにきちんと立て、生徒の実態に合わせて調整しながら授業を進めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間学習指導計画及びシラバスは全教科提出(5月)</li> <li>授業進捗は定期考査等で確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業進度の確保</li> <li>各教科で年間の見通しを立てて計画を行い連携していく。</li> </ul>
	⑤授業時数の確保(単位数×35週)に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育方針に基づいた適切な精選及び行事の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時数については定期的に確認し時数確保に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じて授業を工夫し、復習をしっかりと行えるような宿題を出す。</li> </ul>
	⑥生徒の実態に基づいたわかる授業の研究、指導の工夫を行い、学力の向上を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わかる授業」など授業改善を図る</li> <li>生徒が主体的に復習を行える仕組みをつくる</li> <li>生徒が進路を幅広く選択できる工夫や早期に決定できるように工夫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員評価システムの授業観察を公開授業として全職員が参加できるようにし、授業改善の取組としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わかる授業」など授業改善を図る。</li> <li>学力向上対策委員会で学習活動に関する検討事項をまとめ、各教科、全職員と共有し改善していく。</li> </ul>
	⑦主体的な学習の仕方を身につけさせ、家庭学習・自学自習の習慣化に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の家庭学習に関して、教師、保護者の双方から激励しているようにする</li> <li>学力対策委員会での取り組みを深化させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全生徒を対象に自学自習記録表を配付</li> <li>各教科で夏季・冬季休暇の課題を出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習計画表を活用した取組の実施</li> <li>学年会、進路指導部が進路情報の共有がもっと充実できるよう事前調整、準備を行う。</li> </ul>

本年度の 努力事項	評価事項	自己 評価	本年度の 課 題	今年度の 取り組み	次年度への 改善点
(2) 進路 指導の充 実	⑧学級担任、進路指導部、学年会が進路情報を共有し、計画的・組織的・継続的な進路指導を行っている。	B	・各教科において具体的にキャリア教育ができるような計画が必要	・各教科でキャリア教育の観点を取り入れた指導案を作成 ・英語、国語、数学、総合学習等の授業で実施	・早期の進路決定に向けた計画的・継続的指導 ・進路情報誌、進路のしおりの効果的な活用を行う時間を設ける。
	⑨進路情報の提供や相談等、生徒個々に対する具体的な進路対策の支援を行っている。	B	・HR 活動における進路のしおり活用を充実させる	・進路だよりを75号発行 ・進路講話2回実施	・志願理由書作成取組の充実 ・模擬試験受験者名簿をHR 担任に提供し、各クラス担任と連携して指導する。
	⑩講座受講や模擬試験受験を奨励し、自己診断による進路到達度の点検など細かな指導を行っている。	B	・模擬試験受験の励行 ・模試事後指導の工夫 ・諸データの分析と問題点の考察	・模擬試験受験者総数1307名 ・模試分析校内研修2回開催 ・進路先検討会6回開催	・早朝講座と模擬試験の活用・充実 ・進路室への入退室時のあいさつ指導を引き続き行う。
(3) 生徒の 指導の充 実	⑪あいさつや身なり、清掃等基本的な生活習慣の確立を図り、凡事徹底を推進している	A	・あいさつ指導の徹底 ・服装容儀指導の強化	・毎月、服装容儀点検の実施	・あいさつ指導の徹底 ・服装容儀指導の強化
	⑫安全に対する意識や自他の生命を尊重する意識の高揚が図られている。	B	・不審者や交通事故防止における取り組みの強化 ・イヤホン運転など自転車マナーの指導徹底	・自転車マナー講習会開催1回 ・落物乱用防止、性・エイズ教育講演会開催各1回	・不審者や交通事故防止への取組強化 ・イヤホン運転など自転車マナーの指導徹底
	⑬学習活動と部活動の両立ができている。	B	・両立に向けた指導を各顧問で行う ・部顧問への協力依頼	・夏季休業中、セミナーハウスの夏休み開放し部活動単位の学習会の実施	・文武両道への姿勢を励行 ・各顧問による文武両道への指導を強化 ・模試受験をする生徒の指導を部顧問と協力して行う。
	⑭ HR 活動や生徒会活動が充実している	A	・生徒が自主的に取り組むための工夫	・第10回学園祭の成功 ・各行事の取組	・自主的な生徒会運営の充実
	⑮集団の一員としての自覚と協調性を高めることができた。	B	・各行事の完成度ではなく内容を大切に ・行事活動における時間のゆとり等	・行事では生徒の自主性を促す取り組みを行う	・学年集会や各行事など教育活動全般を通して意識の向上
(4) 教育 環境の充 実	⑯美化に対する意識が高く、校内がきれいである。	B	・清掃指導の強化を引き続き行う ・各クラスの清掃区域における全教員で監督する	・美化コンクールの実施 ・管理棟、普通教室棟の防音工事及び引越	・継続した清掃指導の取組 ・全職員の協力体制の確立 ・清掃区域で引き続き清掃指導を行う。
	⑰図書館が充実しており、読書活動が活発である。	B	・読書活動と進路学習、キャリア教育との連携	・職員による推薦図書紹介 ・年間多読者への表彰 ・引越のための閉館日があった	・図書館へのコンピュータ導入と情報活用能力の育成 ・各科目分野を自頃から調べるよう促した。
	⑱ PTA・地域社会と連携がなされ、開かれた学校経営がなされている。	B	・PTA 活動により多くの参加を促すことへの工夫	・保護者対象の進路説明会及び講演会開催2回 ・PTA から生徒への激励	・PTA 活動の取組促進 ・PTA 進路学習会への企画をPTA と協力して行う。
(5) 「自律」「自立」の育成	⑲主体性を持ち、自ら行動する G 高生である。	B	・根気強く、生徒を見守るゆとりを持つ ・各行事における生徒の自主的活動の励行	・行事での取り組み ・部活動での取組	・教育活動全般を通じた自主・自律の促進 ・生徒自ら調べ学習ができる環境づくりを行う。
	⑳向上心や問題意識を持って学習活動に積極的に参加している G 高生である	B	・目的意識の高揚を図る	・校長訓話 ・校長だより2月号発行 ・新入生に教頭の授業受け ・部活顧問による意識付け	・目的意識の高揚の進路を意識する取組を定期的に行う ・定期的な自己学習へのモチベーションを高める。